

**Service News** サービス・ニュース

各種サービスの「ご利用案内」ができました  
貸出や予約以外にも便利なサービスが様々あり、詳しくご紹介しています。  
手に取りやすいA5サイズです。

- 例えば・・・
- 閲覧席について
  - 複写(コピー)について
  - パスワード/  
メールアドレスの登録
  - レファレンスサービス
  - iPad館内貸出
  - 千代田Web図書館
  - 資料の寄贈について
  - 障がい者サービス など



● 設置場所:  
2階図書フロア 登録カウンター前

ご自由にお持ち帰りください

**6月の展示情報** Exhibit Information \*展示内容は変更する場合がございます。

**2F オレンジゾーン** 「広告は時代を変える」  
インターネットの登場により大きく変化した「広告」の世界。江戸時代の引き札に始まり、現在までの移り変わりを紹介します。

**2F ホール** 「“3Dプリンタ”についてデータベースで調べてみたら・・・」  
(協力: FabLab Shibuya) (～6月中旬) **NEW!**

**2F パープルゾーン** 「変化と回帰の一世紀—東京駅開業100周年記念—」 **NEW!**  
■ 特別展「日比谷に咲いたタカラヅカの花」(三角台、～6月中旬)

**3F ホール** 「広告は時代を変える」海外雑誌の広告(1910～1930年代)  
「変化と回帰の一世紀」(協力: 東京駅フォトグラファー 佐々木直樹)

**3F グリーンゾーン** 「美しい終わり方」(～6月中旬)  
意外にできていない“看取る側”の心構え。人生の最期について、送られる側だけでなく、見送る側の視点からも考える本を集めました。

**わたしの一冊**

『**皺**』 パコ・ロカ著 小野耕世、高木奈々訳

老人ホームに入るようになった元銀行員のエミリオが直面したのは、アルツハイマーという残酷な現実でした。誰しもに訪れる「老い」をまっすぐに描いたこの本を読んだときは、きれいに留まらない、リアルな人生の終焉に立ち会ったような衝撃を覚えました。衝撃の後は風いだ海のように穏やかな気持ちとなる、不思議な一冊です。

◆ 当館スタッフの推薦本を紹介します。  
◆ おすすめする人  
事業企画運営部門 佐々木祐子

小学館集英社プロダクション 2011年

スペイン発の感動のコミック。大切な人も、思い出も、全てが失われていく最後の日々には、人は何を思うのか。

**ZONE PICK UP!** 3F ブルーゾーン

【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン  
トランス トランスレーション  
「trans×translation —越境の美学—」

トランスレーション(翻訳)とは、言語の境界を乗り越えるコミュニケーションです。古来より異国のさまざまな言葉が訳されて自国文化の一部となり、日本文化もまた翻訳を通して海外に紹介されています。ここでは言語や文学に限らず、多様なジャンルに見られる越境の世界を展示します。

**translation×文学** 日本語⇄外国語 古語⇒現代語

**translation×感覚**

主に視覚障がい者のためのデジタル録音図書(デジー図書)や点字図書の展示も。

**translation×異界** この世のものではないものとのコミュニケーション。

「ハリ・ポッター」を日本に紹介した翻訳者、松岡氏と「鏡の国のアリス」などを翻訳した英語学・言語文化学者の安井氏の対談。作品の裏話から、翻訳論や英語・日本語を通してのことばへの思い、「本」との付き合い方や読書論まで多岐に渡るお話が展開されました。翻訳は「孤独な障害物競争」で、かけ算やわり算ができない世界。机の上だけで考えていても良い訳が浮かばず、思いがけない場所で名訳が生まれることも。満員の会場は熱気に包まれました。

■ 講師: 松岡 佑子 (静山社会長) 安井 泉 (筑波大学名誉教授)

「ハリ・ポッター」を日本に紹介した翻訳者、松岡氏と「鏡の国のアリス」などを翻訳した英語学・言語文化学者の安井氏の対談。作品の裏話から、翻訳論や英語・日本語を通してのことばへの思い、「本」との付き合い方や読書論まで多岐に渡るお話が展開されました。翻訳は「孤独な障害物競争」で、かけ算やわり算ができない世界。机の上だけで考えていても良い訳が浮かばず、思いがけない場所で名訳が生まれることも。満員の会場は熱気に包まれました。

**4/11 (金)**

NHK連続テレビ小説「花子とアン」ならぬ「佑子とハリ」という旬なタイトルでスタートした松岡氏のトーク。

長年、翻訳という仕事に向き合ってきたお二人は初対面にも関わらず息がぴったり!

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



**図書フロア展示**

**2F Purple Zone** ■ 2階パープルゾーン  
—東京駅開業100周年記念—  
**変化と回帰の一世紀**

東京駅開業から1世紀。様々な出来事が世界を変えてきました。とくに象徴的な出来事を感じる本を紹介しています。3階ホールガラスケースでは、東京駅フォトグラファー佐々木直樹氏の「東京駅コレクション」を展示中。(～9月中旬まで)

予告 **Green Zone** ■ 3階グリーンゾーン

**「考えるケンチク」**  
● 期間: 6月17日(火)～10月中旬  
建築家の持つ哲学や思想に触れてみませんか。建築の背景にあるものを探る本を集めました。

**HIBIYA COLLEGE 日比谷カレッジ**

**6/5 (木)** 東京駅開業100周年記念  
**写真で語る「赤レンガの丸の内駅舎」**  
創建当時の姿に魅了した東京駅「丸の内駅舎」の歴史を様々な写真とともに紹介します。  
講師: 佐々木 直樹 (東京駅フォトグラファー)  
■ 日時: 6月5日(木)19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円

**6/26 (木)** 「霞が関官庁街の成立と明治維新—4つの謎とともに歴史と建築を考える—」  
明治維新から関東大震災まで、霞が関官庁街の成立過程を歴史を辿りながら解説します。(企画協力: NPO法人建築から社会に貢献する会)  
講師: 宮田 章 (元建設大臣官房審議官)  
■ 日時: 6月26日(木)19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円

**7/16 (水)** 「建築デザインから図書館を考える『世界の夢の図書館』」  
知の遺産である、世界の美しい図書館を「建築」と「デザイン」の視点から探る講座です。  
講師: 中島 智章 (工学院大学建築学部 准教授) 澤井 聖一 ((株)エクスマレッジ代表取締役社長) 小林 恵 (『世界の夢の図書館』責任編集者)  
■ 日時: 7月16日(水)19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円  
▶ 参加申込: 各講座とも電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。

**calendar** 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2014年 6月							2014年 7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												

■ お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館  
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340  
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

**access**

都営地下鉄  
● 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
東京メトロ  
● 千代田線「日比谷駅」A14出口 徒歩5分  
● 丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩5分  
JR「新橋駅」徒歩10分  
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。

# 6・7月の講座

参加申込


参加申込: 電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。  
当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。  
キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。  
千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。学生割引のある講座は、学生証をお持ち下さい。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

**6/4 (水)** ジャパンナレッジ  
「日本語、どうでしょう?」  
～辞書編集者を悩ます、日本語～  
講師: 神永 暁 (小学館コミュニケーション編集局国語辞典プロデューサー兼編集長)

昨夏に行なわれた辞書編集とすじ神永氏による、おもしろ日本語講座第2弾! 「姑息の意味が間違っている!?」「数字の0の読み方は?」「おもむろに、やおらはどんなときに使うの?」—間違いやすいあいまいな日本語をたっぷり解説します。  
(主催: 株式会社ネットアドバンス)


■ 日時: 6月4日(水) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)  
■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円



**6/11 (水)** 千代田区民講座 <音のサロン> 第8回  
「今、うわさの高音質ハイレゾ音楽を楽しもう!」  
講師: 角田 郁雄 (オーディオ評論家)

今日、様々な方法で楽しむことが出来る音楽。しかし音質が少し物足りない…そんな方に、パソコンで気軽に楽しめるデジタルオーディオ機器や、ご自宅のLANに接続して使用できるネットワークプレーヤーで、最高級の音楽を聴く方法をご紹介します。CDの音質を上回る、スタジオなみの高音質ハイレゾ音楽配信サイトを使用しながら、ライブ感あふれるハイレゾ音源の音の素晴らしさを楽しんでいただきます。


■ 日時: 6月11日(水) 18:30～20:15(18:00より受付)  
■ 会場: 4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 無料



**6/12 (木)** 古書で紐解く近現代史セミナー 第7回  
内田嘉吉文庫に見る100年前の外遊  
講師: 臼井 良雄 (特別研究室ナビゲーター)

海外へ旅に出られるのが、限られた一部の人達だった時代に、何度も海外視察に出かけた内田嘉吉を海の向こうへ駆り立てたものは何だったのか。内田嘉吉文庫に残されたいくつもの外遊日記や帰朝報告などで考察します。

■ 日時: 6月12日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)  
■ 定員: 40名 ■ 参加費: 500円(千代田区民無料) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



内田誠(父)  
(双雅房/1935年)より

## 古文書塾 たらこや発!

江戸文化特別講座 (全8講座)

日比谷カレッジ「古文書塾たらこや」の多彩な講師陣による特別講座を開催いたします。江戸時代を中心とした資・史料、版本、手紙などを用いながら具体的に歴史の真実に迫ります。各講座とも全5回での開催となります。

※各講座の第一回目は、右記の開催日となります。

### くずし字をよむ

くずし字の読解を柱にそれぞれのテーマを楽しみます。

- 女性の手紙を読む—女手(おんなて)入門—  
▶ 7/9(水) 19:00～20:30(樋口政則)  
中世末から近代の文体や用字をじっくり味わいます。
- くずし字で読み解く茶の湯の伝書  
▶ 7/3(木) 13:30～15:00(米田雅子)  
江戸時代の人々かどの様に茶の湯を楽しんでいたかを探ります。
- 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)  
▶ 7/12(土) 14:00～15:30(埋忠美沙)  
江戸歌舞伎の名作を、くずし字で読み解きます。

### 画像や話を楽しむ

画像を楽しむ講座や史料を読み解く講座など、個性あふれる古文書の世界を楽しみます。

- 浮世絵を読む  
▶ 7/14(月) 15:00～16:30(藤澤茜)  
色鮮やかな浮世絵版画を「読み」ながら、江戸文化を満喫します。
- 大久保利通の手紙を読む  
▶ 7/8(火) 19:00～20:30(桐野作人)  
建白書などを通じて、大久保の軌跡を具体的に深く理解します。
- 江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ—  
▶ 7/10(木) 18:30～20:00(浦井祥子)  
信仰のあり方、墓の形式、盛り場の様子などを楽しく学びます。

### 特別研究室 ミニ通信

特別研究室 企画展示

旅行案内 いま・むかし—100年前の人たちはこんな旅をしていた—

第2部『洋行』は未知の世界!  
▶開催中～6月15日(日)

海外に関する情報量が今と比べて圧倒的に少なかった時代、海外旅行へ出かける人はどのような準備をし、旅先で何を、どう感じていたのでしょうか。それらをうかがい知ることのできるマナー本やガイドブック、紀行などを展示しています。内田嘉吉文庫の中からも、仕事柄、海外視察に何度も出かけた内田嘉吉の旅の様子がわかる本や持ち帰った写真集などを紹介しています。「洋行」とも言われ、現在にもまして海外旅行が特別なものだった100年前の旅の本を、ぜひ手に取ってお楽しみください。




カラツチヨロ通り  
(下位春吉編) 死都本へを  
訪ふために(日本郵船/1926年)

**6/13 (金)** 新グレートジャーニー 人類大移動、日本列島へ  
講師: 関野 吉晴 (探検家、武蔵野美術大学教授)

「新グレートジャーニー」=日本人の祖先の軌跡を辿る旅。アフリカを出た人類はどの様に日本列島に辿り着いたのか。北方、中央、海上の3ルートで近代的動力を使わずに旅した関野氏にお話していただきます。


■ 日時: 6月13日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 地下1階コンベンションホール(大ホール)  
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円



**6/14 (土)** ピースビレッジ第23回「今をいきいきと生きる～『忘れられたがん』と闘う舞姫」  
講師: 吉野 ゆりえ (がんサバイバー、元ミス日本、元全日本ダンス選手権ファイナリスト、東京大学医科学研究所研究員)

9年前、一流の競技ダンサーを襲った5年生存率7%の『サルコーマ』。14度の手術を含む治療で自身の病と闘いながら視覚障がい者のブラインドダンスや、がんの啓発、「いのちの授業」の活動に取り組む演者が、「今をいきいきと生きる」ことについてお話しします。  
(主催: NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)


■ 日時: 6月14日(土) 14:00～16:30(13:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 3000円



**6/20 (金)** FabLab日本代表 田中浩也と作家 平野啓一郎の花の同級生異色コラボ対談  
未来のモノづくり—3Dプリンタから始まる次の社会—  
講師: 田中 浩也 (慶應義塾大学環境情報学部准教授) 平野 啓一郎 (小説家)

「3Dプリンタは序章でしかない」情報革命の次のフェーズ、情報×モノづくり(デジタルファブリケーション)革命に向かって私たちが準備をしておくべきことは? 文字だけでなく3次元の立体物が電子データで受け取れる時代になった今、情報と物質が混ざり合って展開する新しいネットワーク社会についてクリエイター博士×芥川賞受賞作家が語ります。


■ 日時: 6月20日(金) 19:00～21:00(18:30より受付)  
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

**6/21 (土)** フランスで華ひらくマンガ文化～翻訳家が語るバンド・デシネの魅力～  
講師: 原 正人 (翻訳家)

フランス語圏を中心に出版されているマンガ、バンド・デシネ(BD)。大衆的な作品がある一方、絵画にも劣らない作画技術や斬新な表現方法を追求した作品も多く、フランスでは文学や音楽などに続く「9番目の芸術」として親しまれています。このBDの翻訳を多数手がける講師をお招きし、翻訳の裏話や、現在のBD市場のあれこれについてお話していただきます。


■ 日時: 6月21日(土) 13:00～14:30(12:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円



**6/24 (火)** これだけは知っておきたいインド経済 なぜインドはワンダーランドであり続けているのか?  
講師: 絵所 秀紀 (法政大学経済学部教授)

「中国と並ぶ経済大国インド」と言われて久しいが、依然としてインドは摩訶不思議な国であり続けています。独立から現在までの経済の歩みを概観し、インド経済が抱えている諸問題を検討する中からインド経済の姿を描き出します。


■ 日時: 6月24日(火) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円



**6/26 (木)** 我がスポーツ人生(全3回) 第1回 「テニスを通して国際人として生きる」  
講師: 杉山 愛 (元プロテニスプレイヤー) 吉井 妙子 (ジャーナリスト)

過酷なスポーツの世界で活躍するアスリートの人生観や、成功に至るまでの体験談をお話いただく全3回講座。第1回はオリンピックへ連続4回の出場を果たした杉山愛さんをお招きし、日本のスポーツ界を国際人として初めて変革した、その経緯や考え方について、対談形式でうかがいます。(主催: 上廣倫理財団)

■ 日時: 6月26日(木) 18:30～20:00(18:00より受付)  
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 500円(千代田区民及び学生は無料) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。  
▼第2回予告  
7月23日(水) 18:30～20:00「非常識を常識に変え続けて栄光を掴む」清水 宏保(元スピードスケーター)




**7/1 (火)** 日の丸ニッポンが世界に勝つ方法(全3回) 第1回 球技で勝つ—科学的戦略でゴールを決める!  
講師: 望月 修 (東洋大学理工学部生体医工学科教授)

空気や水の流れ、摩擦を考える流体力学の視点から、科学を味方につけてメダルを勝ち取るオリンピック必勝法を導き出します。第1回のテーマは「球技」。繰り出したボールを「魔球」とする、科学的戦略とは? ボールにおきる空気抵抗や摩擦、狙った球を打ちやすい用具の進化など、球技と物理学との出会いをあますところなくご紹介いたします。

■ 日時: 7月1日(火) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円


▼第2・3回予告  
8月5日(火) 19:00～20:30「競泳で勝つ—カエルの飛び込みに学ぶ!」  
9月2日(火) 19:00～20:30「滑り勝つ—空気抵抗を制覇せよ!」



**7/3 (木) 他** グローバルビジネスパーソンのための株式市場塾 「マーケットインテリジェンスを理解しよう!」  
講師: 手島 直樹 (経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)

上場企業のメリットとして株式市場からの資金調達のために、「株価があること」自体が実はメリットであることをご存知ですか? 第1回目はマーケットの特性をファイナンス理論とケーススタディを通じて理解し、第2回目は株価分析を通じて企業価値創造のヒントを得る手法を紹介し、ビジネスパーソンが知っておくべき理論を学びます。


■ 日時: 7月3日(木) 第1回「マーケットのメカニズムを知る」  
7月17日(木) 第2回「マーケットの英知を経営に取り込む」  
いずれも19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 40名 ■ 参加費: 3000円(2回分)



**7/4 (金)** 千代田区民講座 ふろしき道～日本の心で世界を包む～  
講師: つつみ 純子 (風呂敷・和 문화コンシェルジュ)

日本の生活文化や知恵が詰まったふろしきを通して、国内のみならず海外でも積極的に活動する講師が、ふろしきの歴史や芸術・実用性などの魅力について解説します。箱や瓶を上手に包むコツも実演いたしますので、是非、ふろしきをご持参ください。※ふろしき持参は必須ではありません。(主催: NPO法人神田雑学大学)


■ 日時: 7月4日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)  
■ 定員: 60名 ■ 参加費: 無料  
※6月5日(木)から千代田区民先行受付開始。区民以外は12日(木)から受付開始。



**7/9 (水)** 江戸楽アカデミー×ジャパンナレッジ「江戸の食文化」講座 第1回 お江戸・ほーりーが語る『江戸名所図会』にみる江戸グルメ  
講師: 堀口 茉純 (文化人・タレント)

昨年世界無形文化遺産に登録された「和食」にちなみ、江戸時代の観光ガイド『江戸名所図会』から江戸の食を学びます。江戸文化歴史検定1級を最年少で取得したお江戸(お江戸のアイドル)堀口茉純氏が江戸の食をたっぷり解説! 日本橋に浅草、深川に上野といった名所図会から江戸の食文化を紐解きます。(主催: 江戸楽アカデミー、(株)ネットアドバンス)

■ 日時: 7月9日(水) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)  
■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1500円



教えて! 図書館用語【参考図書(さんこうとしょ)】学習に用いられる参考書のことではない。百科事典や辞書、年鑑、地図帳など、特定の知識や情報について調べるための資料のこと。レファレンス・ブックとも呼ばれる。本の背ラベルに「R」という記号が使われ、一般の図書とは区別して他の書架に配架されていることが多い。